

現についても工夫したい。創生や多世代交流の場でも
 議員 市民に公園をより身近に感じてもらうことが重要だと考える。所見を伺う。
 市長 公園はコミュニティ

官民データ活用に対応する市の情報化施策を問う

自由民主党 吉野 和之 議員



議員 市は、平成28年3月改定の三鷹市地域情報化プラン2022（第1次改定）により情報化施策を実施しているが、改定後の同年12月に官民データ活用推進基本法が制定された。プラン改定後の国における動向について所見を伺う。
 市長 同法制定による国の方向性と市の方向性には大きな差はないと認識しているが、今後国の動向によりプラン改定等を検討する。
 議員 同法の官民データ活用についての所見を伺う。
 市長 本市ではデータを災害情報システム等で活用している。今後も同法の趣旨に基づき、取り組んでいく。

議員 政策の優先順位判断に当たり、同法で重視された証拠に基づき政策立案（EBPM）について伺う。
 市長 政策立案にデータを活用するEBPMサイクルを、市内で構築することが重要で、平成29年度職員研修会を実施した。今後も

聴覚障がい者(児)支援に更なる取り組みの充実を

公明党 赤松 大一 議員



議員 軽度・中等度の難聴児には、幼少時の適切な療

な影響を与えるという報告もある。市は、中等度難聴児に補聴器費用の一部を助成する中等度難聴児発達支援事業に取り組んでいる。事業の広報について伺う。
 市長 病院等に周知は進んでいると認識している。引き続き広報に努めたい。
 議員 補聴器の耐用年数は約5年だ。また、子どもの成長により買い替えの支援も必要だ。所見を伺う。
 市長 事業の実施要綱では、補聴器の耐用年数は5年だが、状況により実情に配慮すると規定している。
 議員 補聴器には、イヤーマールドという耳栓が必要だ。成長期の児童は、半年に一度程度交換を要する。付属品支援について伺う。

議員 学校における難聴児童等への学習支援等について、市の対応状況を伺う。
 教育長 市は、通常学級で視覚教材利用等により教科指導を行い、また、連雀学園南浦小学校に難聴学級を設置して、障がいに応じた特別指導を実施している。
 議員 聴覚障がい者の人工内耳の音声信号処理装置であるスピーチプロセッサの買い替えは高額だ。市の支援について所見を伺う。
 健康福祉部長 今回の買い替えの相談はないが、今後支援の充実を努める。

議員 補聴器の耐用年数は約5年だ。また、子どもの成長により買い替えの支援も必要だ。所見を伺う。
 市長 事業の実施要綱では、補聴器の耐用年数は5年だが、状況により実情に配慮すると規定している。
 議員 補聴器には、イヤーマールドという耳栓が必要だ。成長期の児童は、半年に一度程度交換を要する。付属品支援について伺う。

長期化、高齢化するひきこもりへの有効な支援を

公明党 大倉 あき子 議員



議員 ひきこもりの問題は本人や家族の努力だけでは解決できない状況があり、市として更なる有効な支援策を講じるべきだ。本市の子ども・若者のひきこもり支援の状況について伺う。
 市長 児童青少年課が連絡・相談窓口となり、都が実施するひきこもりサポートネットにつなげている。
 議員 本市は、就学・就業のいづれもしていない子ども・若者への対策を講じてきた。その効果を伺う。
 市長 中高生の居場所づくり事業を実施し、延べ70人の参加があった。ひきこもりの相談がしやすく、居場所も確保できるような取り

組みへ展開していきたい。
 議員 近年、ひきこもりの長期化、高齢化が課題となっている。これまで支援が薄かった40歳以上のひきこもりの相談体制の整備は、今後の重要な課題だ。
 市長 現在、生活・就労支援窓口で相談を受けている。相談の中から分かってきていることを今後の取り組みに生かしていきたい。
 議員 問題を家族だけで抱え込み、深刻化するケースもあると聞く。家族への支援策も講じるべきだ。
 市長 ひきこもり家族会を紹介することにより、丁寧な支援を行ってほしい。
 議員 厚生労働省は、市町

村のひきこもり支援担当職員の養成研修や居場所づくり等ひきこもり支援の充実を打ち出した。本市の支援方向性について伺う。
 市長 今後行われる国の実態調査を踏まえ、効果的な支援を検討していきたい。

グローバルな視野とローカルな視点に立ったまちづくりを

公明党 粕谷 稔 議員



議員 地域社会の健康増進拠点や地域コミュニティの交流の場として銭湯の更なる活用が期待される。今後の支援拡充について伺う。
 市長 今後も各公衆浴場や浴場組合と情報共有を図りながら、現行の支援制度を継続するとともに、都と連携した支援を実施したい。
 議員 外国人観光客向けに日本文化の体験の場や市民との交流の場として、銭湯の情報等を発信することも有効と考える。所見を伺う。
 市長 みたか都市観光協会のフェイスブックによる情報発信など関係機関や浴場の

の方向性について伺う。
 市長 今後行われる国の実態調査を踏まえ、効果的な支援を検討していきたい。



みたか観光案内所（JR 三鷹駅南口）

市民や利用者へ寄り添った制度や施策の充実を求める

希望と維新の会 増田 仁 議員



議員 市長の資産について、ウェブ上で前年分を公開してほしい。

適切に公開している。都知事もウェブ上の公開実績はなく、考えていない。
 議員 市内リハビリ施設が突然閉鎖され、利用者等が困惑している事例がある。介護事業者に対する抜き打ち指導等を検討すべきだ。
 市長 実地指導時は事前に通知することが国の指針で定められている。今後も質の確保等に資するよう集団指導等の充実に取り組む。
 議員 第三小学校の芝生の校庭は、養生期間や降雪後に使用不可能となった。校庭の芝生化を見直す必要があるのではないか。
 教育長 校舎の北側に校庭がある影響もあり使用できない期間があったが、子どもたちの環境教育等のために、芝生を役立てたい。
 議員 SUBARU総合スポーツセンターは、21時以降等の利用率が低いなど問題がある。利用率を向上させる施策について伺う。
 スポーツと文化部長 当面は現行の体系で運用しながら、利用状況や利用者の意見を丁寧な検証していく。

子どもの交通事故を防ぐため更なる安全対策を都に求めよ

無所属 半田 伸明 議員



議員 生活道路から都道との交差点に出る時に、都道に併設されている歩道を走る自転車、信号は赤なのに止まらないケースがよくある。生活道路から子どもたちが出てきた時に、自転車が凄まじいスピードで走ってきた場合、事故は避けられない。本来は都道側の歩道に歩行者用信号機を設置すべきと考えるが、目につきやすい蛍光色で舗装するなどの対策が必要だ。例えば、生活道路側から見て両側が高いブロック塀になっている場合など見通しの悪い所は数多くある。自転

市議会を傍聴してみませんか

本議会及び委員会は公開されており、会議当日に市役所3階議事事務局で手続きをすればどなたでも傍聴できます（ただし、児童及び乳幼児は許可が必要です）。市議会の活動を知るよい機会ですので、ぜひおいでください。